

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170600136		
法人名	有限会社アルファ企画		
事業所名	グループホームみどりの丘		
所在地	武雄市武雄町大字昭和229番地		
自己評価作成日	平成29年10月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年10月20日	外部評価確定日	平成29年11月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>武雄市の中心街にありながら自然を感じられる御船山と田んぼに囲まれ毎日の生活を送ることができる。14年前の設立当初はグループホーム1ユニット、のちに宅老所を経て29年4月よりグループホーム2ユニットとなりましたが、一貫して理念にもかかっているように、ゆったり、楽しく、安全に生活を送っていただくように職員一丸となって取り組んでいる。特に家庭的な雰囲気を大切に、御家族にもいつでもお越しいただけるようにしており、家族会なども開催している。今後も御家族の意向に配慮するケアに努め入居者一人ひとりの尊厳を保ち、一つでも多くの笑顔が見られたらと思います。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>「みどりの丘」は平成15年の開設で、地域にとけ込んでいる事業所である。「家庭的な暖かさ」と「普通の暮らし」を大切にしながら、「自分の親をあずけたくなるような施設」を目指して毎日の支援に臨んでいる。一人ひとりの尊厳を尊重し、利用者主体の支援は、利用者のおだやかな表情となって現れている。</p> <p>居室はA棟オレンジ、B棟ミントの2ユニットで、利用者のより過ごしやすさを求めて、室内のリフォームが行われている。</p> <p>毎日の暮らしの中では、外出の機会も多い。近くの公園に弁当やおやつを持って出かけたり、図書館や買い物に行く方や、以前やっていたゲートボールの試合を見学に出かける方もいる。また、自宅近くまでドライブしたり、地域の運動会の高齢者対象の種目に参加することもある。嚥下体操を含む軽運動やみんなが知っている歌と一緒に歌ったり、興味をひく様に工夫した様々な室内レクリエーションに、利用者はよく参加している。利用者の特技や生活歴、性格をうまく活かして、社会参加の意欲を満たしている。また、食材を買い出して作る食事は、美味しく、利用者に好評で、楽しみでもある。</p> <p>面会時における職員の笑顔と対応は、家族に気軽に訪ねやすさや相談のしやすさを感じさせている。</p>
---

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内(玄関)や事務室などの目の届きやすいところに掲示している。又全体会議時にも読み上げ確認している	同左	事業所開設以来の理念であり、地域にとけ込むことにも十分に留意している。折にふれて理念の具体的な姿を話し合い、意識の共有、統一を図っている。管理者の適切な指導や助言もあり、全職員が常に理念を意識しながら日々の支援にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	定期的に運営推進会議を開催し区長さん民生委員さん、家族等の参加を頂き意見交換の場を設けている。又施設内での催物(みどりの丘会)にも家族や近所の方の参加を頂いている。	同左	機会をみては近くにあるゴミ集積所の周りや、公園周辺の道路の落ち葉を掃除し、地域美化の一翼を担っている。地域の自治会にも加入し、広報紙を届けてもらったり、地域の情報を得ている。佐賀にわか、子どもひよっとこ踊り、民謡などこの地域ならではのボランティア訪問も行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員が独居老人のことで相談に見えることがあったり、ホーム内行事参加の時にお話をされる方などがある。	同左	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議の外部からの参加者ご意見を参考に必ず全体会議に報告しスタッフ一同共有し検討するなどサービス向上に向けて取り組むように努力している。	同左	年6回、定期的に行われている。年度当初には理念の紹介、地域の消防団も参加しての避難訓練、区の行事であるお祭りや運動会の見学や参加、家族会からの要望を検討する等、地域との結び付きを深めたり、運営に活かされるなど、有意義に機能している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認定更新手続き等で市役所に伺うがその際、地域包括支援センターへ顔を出し、情報を頂いたり相談をしたりしている。	同左	市役所の健康課や広域介護事業所にも出向き、事務的処理や相談の機会も多い。生活支援に関すること、身寄りがない利用者への支援、利用料に関すること等、ケア以外にも行政と課題を共有している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について全体会議などで研修を実施している。各々の利用者様について対処方法を細かく話し合ったりして拘束をしないケアに取り組んでいる	同左	職員は、勉強会や外部研修で身体拘束が利用者の心にまで及ぼす影響について正しく認識している。これまで身体拘束の事例は無い。言葉による拘束も無いように十分に留意しながら支援に臨んでいる。玄関も施錠は無く、利用者に拘束感が無い。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修などで職員の意識の向上に取り組んでいる。又外部での講習に参加したりして情報を共有している	同左		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活の中で利用者さんが自立できるよう残存機能を理解し支援して行く様にケアをしている。成年後見制度についても実施の例がある。	同左		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前の相談受付に始まり、利用者並びに御家族の意向には充分傾倒し、又説明を行っている。	同左		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	サービス担当者会議や面会時に御家族との会話の中で相談や意見を聞き反映して行く様に心掛けている。	同左	家族との信頼関係には常に配慮している。家族会であるみどりの丘会からの意見や要望を聴いたり、家族の面会時には努めて何でも話しやすい雰囲気づくりに努めている。遠く離れた家族には電話等で連絡を密にとっている。苦情受付窓口もきちんと説明し、ご意見箱も設置している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃より個人面談の機会を持っている	同左	管理者は常に職員の意見や要望に耳を傾け、運営に反映させる姿勢を保っている。ウッドデッキの効果的な利用、浴槽の改善、利用者の尊厳を大事にした接遇、職員の個人的な事情に応じた勤務の割り振り等、運営に反映させている事例は多い。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況の把握に努めており昇級賞与に反映。又食事会などの場を設けている。今期新たに職員休憩室を設け、A棟の風呂場脱衣室洗面台をリニューアルする	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数など個人差にあわせ外部研修を受けてもらったり社内勉強会を行ったりしている。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	できるだけ他施設訪問を心掛けている。又来訪された場合でも相手の時間が許す限り情報交換などに努めている。	同左		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族と充分話し合い情報収集しサービス計画書作成の上でも課題分析し問題点を知り本人の安心を確保して行く。	同左		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族、本人が何が一番困っておられるか話の中で読み取りながら安心して頂くようにして行く。	同左		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	充分な話し合いをして何を必要とされているかを聞き取り、サービス計画書案を作成して対応している。	同左		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様本位のサービスを提供するものの、共に共通話題を見つける努力をして行く。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況を細かに報告し状態を把握していた。その上で家族の気持ちを読み取り見守りし安心して頂くように支援する。	同左		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会はいつでも対応している。又近所の方でも見学に立ち寄られる雰囲気づくりに努めている。	同左	家族だけでなく、知り合いの面会もサポートしている。これまで暮してきた地域までドライブしたり、よく利用していた商店に出かけたり、図書館に行く利用者もいる。利用者になじみがある地名や方言を書いたカードを作って、記憶を呼び起こすレクリエーションの工夫もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	できるだけ居室から出てホール茶の間にて過ごして頂き、お茶の時間や会話の時間を持っていたいでいる。	同左		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたり入院されたりがあっても何かと電話で相談があったりするが対応に努めている。	同左		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	スタッフ間で共有し意見を出し合いそれぞれの利用者様に合った対応に努めている。	同左	各居室の担当制をとっており、より、細やかに利用者の心情や意向を把握し、支援に活かしている。居室に戻って、手を握りながら思いや不安を聴いたり、いっしょに添い寝をしながら、その方の心の奥を察することもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所される時十分な基本情報を頂き把握し家族様からもお話をお聞きしている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で利用者様の状態については現状を共有している。充分とはいかなくても今後も懸命に支援していきたい	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各居室担当者を決め、サービス担当者会議にも出席して貰っている。細かい問題点や情報をあげてもらい計画作成に反映している。	同左	全職員で作成した介護計画で、統一した支援が行われている。担当者会議には家族も参加している。介護計画は具体的で実行可能なものであり、利用者や家族の意向が活かされ、利用者の不満が無いかに常に気が配られている。利用開始時は期間を短く設定し、柔軟に計画変更が行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の介護記録を参照しながら月1回のモニタリング、全体会議で情報共有し見直し計画に反映している。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各々家族の希望により主治医継続したり訪問診療や訪問美容、歯科訪問等も受け入れている。	同左		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中心地に施設が立っている為歩行範囲内に公園、図書館、文化会館、ショッピングセンターなどがあり気軽に利用している。	同左		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の定期受診に2ヶ月～3ヶ月毎の検査と充分に対応していると思う。受信時家族が付添できないときは、後状況報告を家族に報告している。	同左	利用者、家族が希望する病院での受診である。協力医療機関とは、夜間でも連絡や相談、指示を受ける関係にある。定期的に往診にも来てもらっている。歯科は、訪問歯科の利用の支援で利用者や家族も助かっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の状態変化については常に記録、スタッフとも直ぐに連絡を取り合い適切な対応をしている。	同左		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との連絡を取ったり面会に行ったりして安心して治療に専念されるように努めている。	同左		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今まで看取りを行った事はないが、家族様の意向を最優先し、ドクターを交えてできる限りの対応を今後も続けて行きたい。	同左	入居時に事業所として出来ることと不十分なことを十分に説明し、利用者と家族の意向を聴いて納得を得ている。今後、看取り介護を望む家族があることも視野に入れている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルにより社内研修を行っている(ミーティング時等)が、今後実践に備え訓練をして行く。	同左		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	風水害・地震・火災の対応マニュアルを繰り返し熟読し、実践に備えて訓練を行っている。地域の方々にも運営推進会議などで施設の情報を公開し又協力をお願いしている。	同左	消防計画に基づいて、地元消防団や事業所周辺住民の協力を受けながら、避難訓練を実施している。夜間、火災の想定で、消防署の指導も受けている。最近、大雨で近くの川の増水もあり、地域と一体になった対策が考えられている。非常災害に備えた備蓄も検討中である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格、尊厳を重視し一人ひとり尊重した対応を取っている。個人情報についても使用目的を明確にしており家族にも同意を得ている。	同左	利用者の尊厳の尊重を支援の基礎にしている。一人ひとりの特徴を熟知し、接遇ひとつにしても、その方に合った支援をスタッフ一同、相談しながら実践している。個人情報、きちんと管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でどうしても個別対応が必要な時など寄り添い会話し、自立支援していくことにより自己決定を促している。	同左		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各々の利用者様の好きな事嫌いな事を把握し希望に沿って対応している。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝と夜の区別の為パジャマに交換したりホールでは洋服に着替えるよう支援。外出時には整容身だしなみに注視している。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんの出来る範囲でトレイ拭き、下膳、配膳、テーブル拭きなどお願いしている。つぎわけなどは経験されて来ているので嬉々とした顔でされている。	同左	三食とも台所で調理された手づくりの食事である。調理する音やおいしい匂いは、利用者の食事への楽しみを増している。職員は利用者の食事をそっと見守ったり、さりげなく声をかけている。食卓を拭いたり、自分なりに後片付けをしている利用者の姿を見受けられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	現在のところ食事制限や治療食の利用者さんは居られないので年齢や口腔状態に応じて再飯や刻み食を提供している。	同左		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず口腔ケアを実践し、週3回義歯の消毒を行っている	同左		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各々の排泄パターンを把握している。1.5～2時間間隔での誘導には小声で声掛けしている。パット交換時にもそれとなく本人の羞恥心を考慮し対応している。	同左	一人ひとりの排泄の習慣やパターンが、細かい観察や排泄チェック表等によって把握され、支援に活かされている。排泄チェック表の置き場所や記録方法も工夫している。排泄自立に向かっている方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に心掛けたり歩行やマッサージをしたりして出来るだけ自然排便に持っていきよう努めている。緩下剤使用も指示あり	同左		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めているものの本人によっては希望日にすることもあり、入浴前後にバイタルチェックして、状態安定されて気持ちよく入浴して頂けるよう支援している。	同左	原則的には週3回の入浴だが、希望する方には、毎日でも入浴してもらっている。入浴時間等に特別な制限はなく、ゆっくりと入浴してもらっている。車椅子利用の方には、二人の職員で入浴支援にあたっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間不眠の方には昼寝してもらったり、支援している方が昼夜逆転されないように心掛けている。室内の温度調節にも気を付けている。	同左		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や容量を把握し全員が共有し正確に投与する。名前呼び確認する。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	体操、早口言葉、地名読み、方言、歌、カラオケ、塗り絵、習字、漢字、算数などそれぞれに利用者様の得意分野がありスタッフもそれを踏まえたいうで楽しんでもらえるように対応している。季節行事の時にはおはぎ作りをすることもある。気分転換のドライブ、散歩も取り入れている。	同左		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族には病院受診や買い物などに付き添って貰ったり、外食を一緒にされたりがあり、施設としては季節に合わせたドライブや天気の良い日は公園までの散歩や一緒にスーパーまで買い物に行ったりしている。	同左	散歩、外気浴、買い物、ドライブ等外出の機会が多い。すぐ近くの公園までおやつや弁当を持って出かけた、アイスクリームを食べに外出することもある。花見、紅葉狩りや、希望で近くの神社や大楠の見学に行くこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金を自分で管理できる方はいらしゃらない。	現在、要支援2、介護1の方で近くまで個人的に買物に行ったりされるので小銭をもって自分で管理されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	2名の方が電話に出られたり自分からかけたりされる事があるので見守りをしている。	2～3名の方が電話に出られたり自分からかけたりされる事があるので見守りをしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は馴染みの物の持ち込みは可能で制限はしていない。家族も絵や写真等本人の好きなもの、思い出のあるものなど持参され飾っておられる。又利用者様の作成したものや好きなポスターなど飾っている。	同左	みんなが一緒に過ごす時間が多い居間は、明るくて静かで、無用な音や光の刺激が無い。室温も過ごしやすい温度に設定されている。新聞や趣味の園芸、料理の月刊誌もあり、利用者は思い思いに楽しんでる。季節の花が一輪花瓶にさしてある。トイレや浴室も掃除が行き届き、清潔感が保たれている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(オレンジ棟)	自己評価／ユニットB(ミント棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたいときは各自居室に行かれたり、馴染みの方や家族が来られた時には楽し気に笑い合ったりして自由に過ごされている。ソファに仲良し同士座り話されているのも目にする。	同左		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は馴染みの物の持ち込みは可能で制限していない。家族も絵や写真など持参され飾っておられる。	同左	家族の協力を得ながら、ゆっくりと落ち着いて過ごせる、その方らしい各居室が構成されている。亡きご主人の写真と仏壇を置いたり、お気に入りの洋服を自分で工夫して吊るしたり、趣味のパッチワークを活かして職員にも作品をあげたり、繕いものを気軽に引き受けておられる利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ風呂場などへ移動される為の表示、手すりの設置をして動線を工夫している。	同左		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○		3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
		○	○	2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない